

令和6年10月21日（月）

『姿で示すことができるのは実力！』

少し前のことになります。

10月11日に前期終業式がありました。その中で、改めて節目の大切さについて話をしました。全員にとっての節目は、変化が見せても不自然さはありません。逆に誰かに変化が見られれば、「自分も…」と意を決する人もいるかもしれません。その大きなチャンスが前・後期の変わり目の今日であること、本日の前期終業式の日には教育長訪問があり、瑞浪市教育委員会、東濃教育事務所の先生方9名がお見えになること、そこで、今、北中の課題として挙がっている『声量』をキーワードとして取り組み、来週からの後期につなげよう、という話をしました。

全ての授業を参観された後、ご指導の時間がありました。そこで、お話になったことを以下にまとめます。

「**元気でさわやかな姿**をみることができた。来て嬉しかった。」

「生徒の心が解放されている。また**メリハリをつけることもできていた**。」

「音楽の授業では4つの小学校からの結集した姿であった。**大きな声◎**」

「繰り返しの挙手ができており、**仲間に伝えようとする意欲**が伝わってきた。」

「**仲間に堂々と伝えることができていた**。」

「今日の**キーワード**が生徒たちの中に**しっかりと意識**されていた。」

「**全員が意識するというのは強い！**」ということを実感しました。さらに、意識してできる、というのは、皆さんの実力です。

キーワードをしっかりと意識して授業に臨む皆さんの実力を評価してもらえたこと、とても嬉しかったです。

